

西田 勝 編・解題

田岡嶺雲全集 第六卷

評伝 評論及び感想 五

ISBN 978-4-588-11031-3
C1395

第六回配本／四六判・上製クロス装・貼箱入／886頁／定価（本体20,000円＋税）

日清戦争の余燼冷めやらぬ1897年、維新以降の近代教育を受けた新進気鋭の中国文学研究者らが、世界文学としての中国古典の再生を志して発刊した叢書『支那文學大綱』（15巻刊行、未完）。東洋文化への敬意に基づくこの叢書のために嶺雲が執筆した五つの評伝、『莊子』『屈原』『蘇東坡』『高青邱』『王漁洋』を、詳細な編註・解題とともに収める。前巻に続く「評論及び感想五」も収録。

主要目次 評傳——『莊子』『蘇東坡』『屈原』『高青邱』『王漁洋』

評論及び感想 五——吾が見たる上海 上海に由て見たる支那／上海の天長節／異國かたり草（一）／『王漁洋』の批評と辯難／同情より出でたる節儉／上杉博士の『婦人問題』を讀む／婦人の奮起を望む／今の文章は冗漫である／雪の西湖／十五年前の回顧／墨子に就きて／雜鈔雜録／貴婦人論／俳諧數奇傳／成吉思汗／人生の爲／人間の生活を呪ふ／擱筆の後／死の問題／洪水／日光より／現代文學の社會的影響



1908年9月初、大野病院で
（左から白河鯉洋、樋口龍峽、嶺雲、大野洒竹、笹川臨風）

次回配本『第七卷 翻譯・研究ほか（仮）』は2018年中の刊行予定です。

1969年から刊行開始した本全集、ついに全巻完結となります！

田岡嶺雲全集（全七巻）既刊 —— ご注意部数

第一巻 評論及び感想 一 （ 冊）

792頁／定価（本体12,000円＋税）

* 第一巻の在庫はオンデマンド版のみです。初版と内容は同じですが、造本および印刷方式が異なりますので、ご承知おきの上、お求め下さい。

第二巻 評論及び感想 二 （ 冊）

872頁／定価（本体14,800円＋税）

第三巻 評論及び感想 三 （ 冊）

876頁／定価（本体15,000円＋税）

第四巻 評論及び感想 四 （ 冊）

906頁／定価（本体17,000円＋税）

第五巻 記録 伝記 （ 冊）

830頁／定価（本体8,000円＋税）

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学出版局 TEL03-5214-5540 FAX03-5214-5542

注 田岡嶺雲全集 第六巻 （ 冊）

ISBN 978-4-588-11031-3 C1395 定価 21,600円（本体20,000円＋税）

注
文
書

お名前： _____

ご住所： _____

お電話： _____

書店名・
番線